

平成31(令和元)年度 上田市立北小学校 学校自己評価シート

評定：A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:全くできていない

学校教育目標		総合評価		
「花とみどりと笑顔の学校」～あふれるあいさつ ひびきあう心～ 「社会において自立的に生きる力」の育成 10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造				
今年度の重点目標		成果と課題	評価	改善策・向上策
よくふれあい…「友だちいっぱい」 ・教師は、子どもが他者とつながることをサポートしたり、子どもと関わり合ったりすることができたか。				
よく学び …「思いや考えを伝えよう」 ・教師は、学び方を身につけさせ、思いや考えを伝え合う主体的な授業を行うことができたか。				
よく遊ぶ …「たくさん遊ぼう」 ・教師は、ハッピータイム等で子どもたちと一緒に遊び楽しむことができたか。				

領域	重点	評価項目	評価の観点			
学校教育	よくふれあい	「多様な他者とかかわり合う場」の確保	学校において、地域の様々な大人と関わり合う場を確保し、地域のもてる力を有効活用しようとしている。			
		「教師が子どもと向き合う時間」の確保	朝の学級活動の時間の工夫により、教師が子どもと向かい合い、子どものやる気を高める時間となっている。			
	よく学び	「連学年研究体制による授業改善」	全職員が専門派遣講師による授業公開や教材研究を通して、授業改善を図ろうとしている。 国語、算数を中心とし、児童の「自ら学ぶ力の強さ(学力)」を向上させようとしている。			
		「北小学びのスタンダード」(全学年共通で身につける学び方の基本)の推進	教師の指導がなされ、以下のことができている。 1 話す人は一人。 2 呼ばれたら「はい」と返事をする。 3 相手に顔と体を向ける。 4 相手に聞こえる声で終わりまで話す。 5 相手が話し終えるまで聞く。			
		書く(伝える)活動の充実	教師は、日記指導等を通し、児童が自ら学ぶ基礎力(思考力、表現力)を育てようと指導している。			
	よく遊ぶ	自主的活動の時間の確保	昼休み等の時間が、遊びや、児童の自主的な活動のための時間となるよう指導している。			
「ハッピータイム」(外遊びの日)等の充実		教師は、子どもと共に遊ぶ等、子どもが外遊びに進んで取り組むような働きかけをしている。				
学校運営	保護者・地域との連携	情報の発信	学校(学年、学級)は、教育方針、取組やその成果、連絡など、必要な情報を発信している。			
		PTAやボランティアとの連携	学校は、PTAやボランティアとの連携を十分行っている。			
		家庭学習の充実	学校は「紡ぐ」を活用し、家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけをしている。			